

伊勢湾貧酸素情報（第6報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

これまで、伊勢湾の底層に広く形成されていた 2 ppm以下の貧酸素水塊は、かなり縮小しており、今後、貧酸素状態は解消に向かうものと思われま

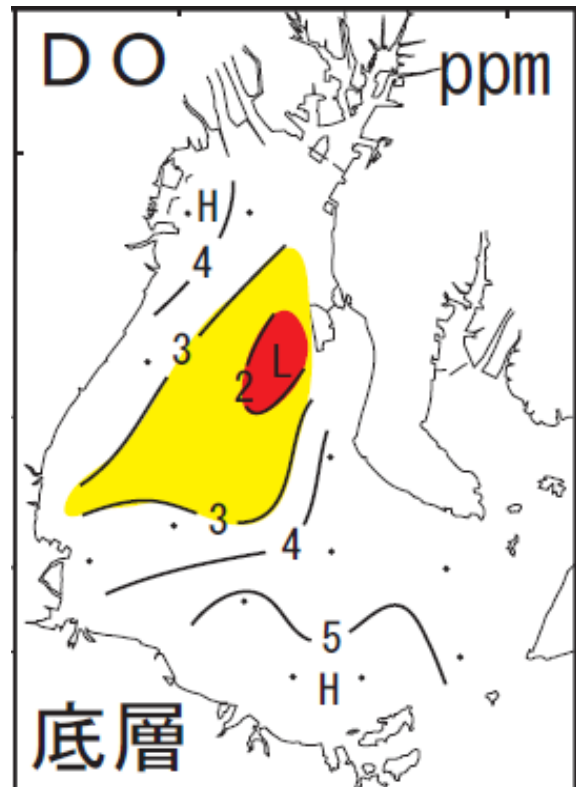
1 1月2日の調査結果

11月2日の調査船「あさま」の定線観測（速報値）によると、水温は表層で 17.7～20.4℃、10mで 19.7～21.5℃、底層で 20.5～22.5℃の範囲にあり、表層は平年並、10mで高め、底層では高めからかなり高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.6～11.0ppm、10mで 4.5～7.9ppm、底層で 1.7～5.5ppmの範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10mと底層では低めとなっていました。

6月の観測時（6月5日）以来、伊勢湾の底層に広く形成されていた 2ppm以下の貧酸素水塊は、かなり縮小しました。

伊勢湾では、海水の上下混合が起こりやすい時期を迎えており、今後、貧酸素状態は解消に向かうものと思われま



底層貧酸素水塊分布図